

# 令和7年度とうきょうすくわくプログラム 活動報告書

## テーマ **遊び心を育む**

設定理由：日常の遊びでボールを投げたり、いろいろな素材に対して興味を持ったりと好奇心旺盛な様子が見られる。

モフンという新しい感触の素材のボールを使って、様々な遊び方を見つけながら、遊び心を育てていく。

実施対象年齢：0歳児

- 事例：①ふれる  
②ひっぱる  
③投げる



ウィズブック保育園 武蔵小山パルズ(品川区)

# moffnとは

モフン

moffn（モフン）は子どもの遊び心を育てるために生まれたボールで、医療用包帯をもとに独自開発した機能性の高い生地で作られています。

程よい弾力とやわらかな感触は子どもだけに限らず、ご高齢の方にとっても、掴みやすく投げやすい構造になっており、当たっても痛くないので家の中でも全力でボールを投げることができます。

さらにこのボールはアスリートのバランス感覚を育て、コーディネーション用途にも利用できます。素材は天然素材である包帯生地の廃材を再利用して開発。全ての世代に対しても、環境にとっても、安心安全な、サステナブルなボールになっています。

参照：モフン公式HP

<https://moffn.com>



# モフンに触れる

活動日：2025.8.8

活動内容：初めてモフンにさわり、興味を持つ。

## ▶ ねらい

新しい感触や素材に興味を持ち、触れて遊ぶことを楽しむ。

## ▶ 用意した環境

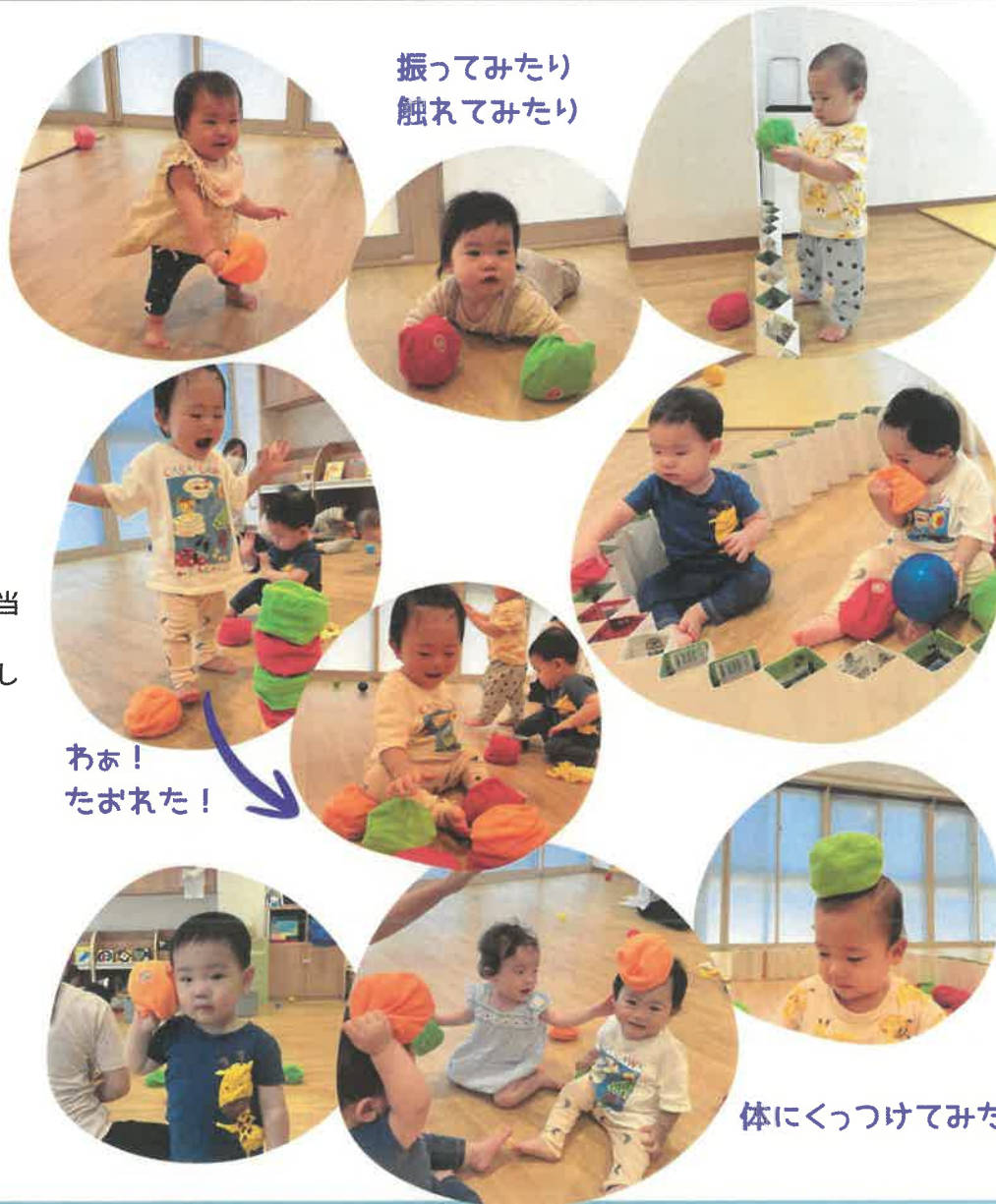
囲った空間の中にモフンを入れ、集中して触れる環境をつくる。

## ▶ 活動中の子ども姿

- ・ 軽くてやわらかい素材のモフンに興味津々の様子が見られた。感触に興味を持ち、ぎゅっと強く握ってみたい、顔に当てたりする姿があった。
- ・ 両手に持ってぶんぶん振ってみたい、頭にのせてみようとしたりと、子どもたち自身がいろいろな遊びを見つけて楽しんでいた。
- ・ 保育者がモフンを高く積み上げると、崩す遊ぶを楽しみ、保育者に「もう1回積んで」と伝える姿も見られた。

## ▶ 振り返り

最初に集中して触れる環境を準備したので、子どもたちの興味を引き出すことができた。保育者も一緒に楽しむことで、子どもたちも『初めての感触』に楽しく触っていた。



振ってみたい  
触れてみたい

わあ!  
たおれた!

体にくっつけてみたい

事例  
①

事例  
②

事例  
③

# モフンをひっぱる

活動日：2025.10.8

活動内容：吊るしたモフンをひっぱって取る。

## ▶ ねらい

普段遊んでいる玩具の新しい遊び方を知り、自らやってみようとする。

## ▶ 用意した環境

紐と洗濯ばさみを用いて、モフンを上から吊るす。まだハイハイの子もいるので、紐は長めにして、どの子も届くようにした。

## ▶ 活動中の子どもの姿

- ・吊るしたモフンを見つけると、すぐに近寄って触ってみたり引っ張ってみたりと興味を持った。
- ・保育者が洗濯ばさみをつまんで取る様子を見せると、子どもたちも模倣して、集中し洗濯ばさみから取ろうとする遊びに発展する姿も見られた。
- ・様々な遊び方をする中で、子どもによって、大胆に引っ張る子と、洗濯バサミから丁寧に取る子など好きな遊び方に違いが出ていた。

## ▶ 振り返り

常設玩具として使用開始してから2ヶ月。触れたり積んだりモフンで遊ぶことを楽しんでいる姿が見られていたので、新しい遊び方を提案してみることにした。ひっぱり遊びに興味を持っていたこともあり、吊るしたモフンへの興味があった。子どもたちの普段から興味のある遊びから発展させられたことが今回の活動に対する興味を引き出せたと感じた。



事例②

事例③

# モフンを投げる

活動日：2025.11.26

活動内容：対象物に向かってモフンを投げる。

## ▶ ねらい

投げることを通して、体を動かす楽しさを味わう。

## ▶ 用意した環境

大きな輪っかを壁に貼り、モフンを投げ入れる。

## ▶ 活動中の子どもの姿

- ・ 普段投げて遊んでいるボールより重いモフンを、大きく振りかぶって遠くへ飛ばそうとする姿が見られた。投げるのが大好きなので、たくさん投げる遊びを笑顔で楽しんでいた。
- ・ 輪っかに投げ入れる様子を保育者が先に見せると、子どもたちも真剣に聞き入り、自身もやってみようと挑戦していた。
- ・ 普段は自由に投げることを楽しんでいたが、輪っかがあることで、狙って投げる新しい遊び方に気づき、集中して取り組んでいた。

## ▶ 振り返り

遊びにも成長が見られ、ボールや玩具を投げて遊ぶことが楽しくなってきたので、モフンを的に向かって投げる遊びを計画した。対象物である輪っかも大きくしたことで、0歳児でも入れやすい大きさになったと感じた。また、輪っかの使い方を最初に丁寧に説明したことで、子どもたちも真剣に聞き入り、遊びに積極的に取り組むことができたと思う。



どうやって入れるのかな？



えい！



大きく振りかぶって～



いろいろな輪っかへの入れ方